

平成31年度当初予算

明日の市民に渡す支え合い予算

予算の概要

新年度予算は、第6次総合計画「ながくて未来図」に示された10年後の長久手市の姿を実現するため、関連する事業に重点的に予算を配分する編成としました。

平成31年度一般会計は、社会基盤の整備、特に子育て世代の増加に対応するための児童福祉施設の整備や老朽化した学校施設の改修等を進めていくことに加え、需要の増加が見込まれる社会保障関連事業に対応するために、過去最大規模の201億1,000万円となりました。

2050年には、自分が暮らすまちに誰もが関心を持ち、「市民主体のまちづくり」が文化として定着することを目指し、第6次総合計画「ながくて未来図」と共に新たなまちづくりが幕を開けます！

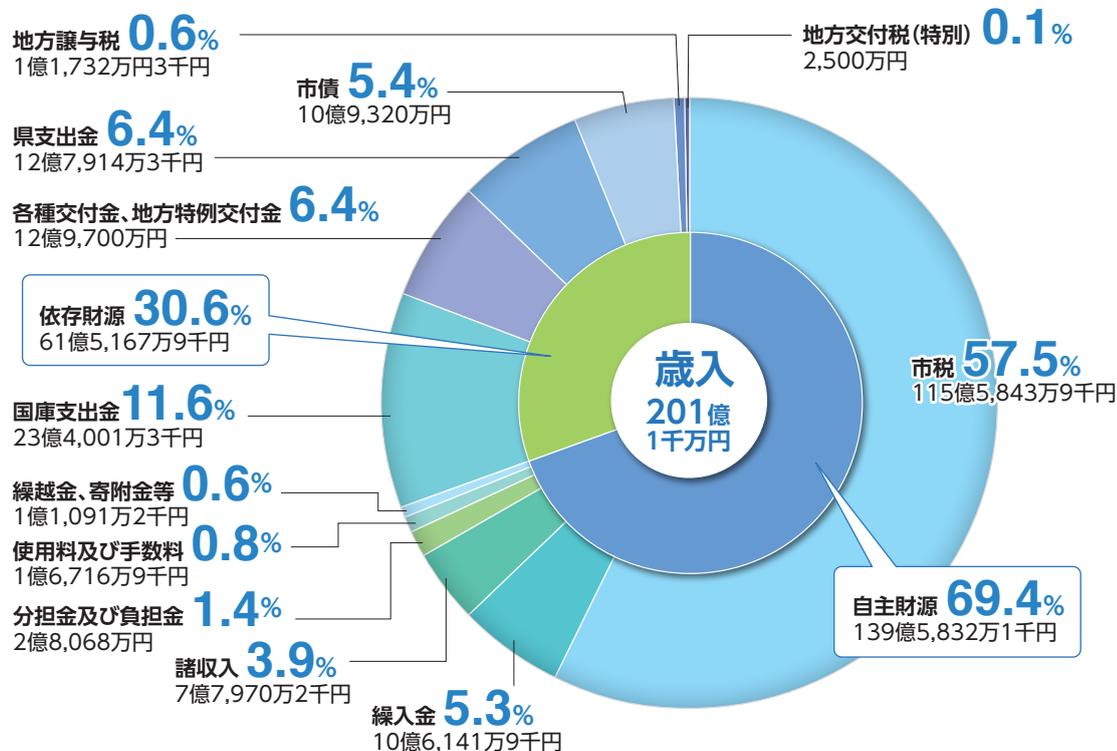
会計名	平成31年度	平成30年度	差引	増減率
一般会計	201億1,000万円	190億6,000万円	10億5,000万円	5.5%
特別会計	95億572万3千円	84億120万2千円	11億452万1千円	13.1%
企業会計	28億5,905万6千円	26億9,936万5千円	1億5,969万1千円	5.9%
合計	324億7,477万9千円	301億6,056万7千円	23億1,421万2千円	7.7%

特別会計とは、一般会計と財布を分けて、収支を管理しているものです。(例)国民健康保険特別会計

企業会計とは、地方公営企業法の財務規定等を適用した会計です。(例)下水道事業会計

一般会計歳入

歳入の根幹となる市税は、人口増加、土地区画整理事業や民間開発による住宅整備により、税収の増加傾向は続いています。平成30年度当初予算のように大幅な税収の伸びが見込めないため、対前年度比9,297万3千円(0.8%)増額の115億5,843万9千円としました。なお、歳入予算額に占める市税の割合は、57.5%となっています。



※表示数値未満四捨五入のため、積上げと合計が合わない場合があります。